

下名地区のまちづくりプラン

皆で声かけ茶を飲み話そう歩危の里

下名地区データ

令和5年9月末現在

地区の人口	330人	世帯数	189世帯
14歳以下	11人	一人暮らしの高齢者世帯数	32世帯
15～64歳	135人	高齢者のみ世帯数	27世帯
65歳以上	184人	高齢化率(65歳以上)	55.8%
(75歳以上)	(100人)	後期高齢化率(75歳以上)	30.3%

地域の資源(特徴)

消防団、老人クラブ、下名分館、下名小学校、駐在所、熊野神社、両皇神社、百手保存会、百手まつり、診療所、自治会数 9 など

(特徴:高知県境に位置し、雨量による通行制限がある。小学校では生徒数減少により、地域と連携して活動を実施。地域内には各種団体組織が残っており、連携した事業実施が図れている。)

①「地域の絆を深める」

〈課題〉

- 組織力低下による地域内での役割分担



課題解決に向けて

- 地域内の各種団体の連携
- 小地域での集まりの継続(自治会集会、グラウンドゴルフ練習など)
- 学校との交流

- 運動会
- 小学校との交流活動
- ひな祭り弁当
- 自治会の集会など
- 敬老会

②「援助が必要な人に支援を届ける」

〈課題〉

- 高齢化による見守り体制の強化



課題解決に向けて

- 見守り活動(歳末活動、ひな祭り弁当、広報配布時の安否確認等)
- 健康増進事業の継続
- 小地域での集まりの場づくり

- ひな祭り弁当
- 見守り活動(友愛訪問、ウォーキング、広報各戸訪問配布)
- 一人暮らし高齢者訪問
- 介護予防教室
- サロン活動
- ささえあいマップ

③「安全で安心豊かなまちづくり」

〈課題〉

- 緊急時の地域内での体制強化



課題解決に向けて

- 防災訓練や設備確認の実施
- 自治会を中心に避難体制の検討や情報発信
- ささえあいマップを活用し要支援者の把握

- 防火水槽点検・消火器確認点検
- 放水練習
- ささえあいマップ

◀ 継続して取り組んでいく事業 ▶